

## 琉球医学会誌投稿規定

### 【琉球医学会誌の基本方針】

- I 投稿資格：本誌への投稿は、原則として第一著者が琉球医学会会員に限る。
- II 本誌に掲載しうる論文の種類：
- (i) 英語または日本語で記載された未発表の総説、原著、症例報告、短報、調査報告、資料、ならびに学会等に関する紹介記事等を対象とする（その論文の種類について、投稿時に別紙『原稿内訳用紙』に記載し、提出すること）。
- (ii) 短報とは、緊急性、且つ重要性の高い論文で、図表を含め、刷り上がり3頁以内に収まるものを意味する。
- III 論文の採否および掲載順序：編集委員会が委任した査読者が投稿論文を審査し、その結果を踏まえ、本委員会が採否を決定する。また、採択された論文の掲載順序については、本委員会において決定する。
- IV 校正：投稿者による校正は原則として再校までとし、校正に際して原文の変更あるいは追加を認めない。
- V 著作権の帰属について：投稿原稿の著作権は、本誌に採択された時点から琉球医学会に帰属する。著者本人が、その図表等を他誌等に引用する場合、本編集委員会の承認を得ること。
- VI 電子図書館での公開：本誌に受理・掲載された論文は、琉球大学図書館が管理する電子図書館（沖縄地域学リポジトリ）に保存され、最新号掲載論文を例外とし、順次インターネット上で公開される。ただし、著者からの申し出により非公開とすることができる。

### 【投稿にあたって】

- I カバーレターの添付：論文を投稿する場合は、その内容の概略、新規性や重要性等について、日本語で記述した手紙（A4サイズ、1枚以内）を添付すること。
- II 論文のスタイル：
- A. 度量衡の単位
- 論文の原稿作成にはワープロソフトを用い、和文、英文原稿ともに上下左右の余白を2.5cmとし、A4版にダブルスペース（1頁25行程度）で記入し、1行あたり和文の場合35字（全角）、英文の場合70字（半角）程度とすること。また、和文の場合であっても、アルファベット、数字はすべて半角に統一する。
- フォントサイズは、基本的に11ポイントを使用する。

### B. 書体と用語

和文表記の論文においては、現代仮名遣いによる口語体の文章とし、簡潔平易を心掛けること。

専門用語は、可能な限り日本医学用語委員会規定に従うこと。

英文、和文を問わず、読点はコンマ（,）に、句点はピリオド（.）の英文表記に統一すること（本規定の文章を参考とする）。

薬品名は、一般名を使用する。

動物、植物などの学名は二名法に従い、イタリック体表記とする。

### C. 度量衡の単位

単位のあとに句読点をつけない。

例：長さ：m, cm, mm,  $\mu$ m, nm

体積：liter, ml,  $\mu$ l

重量：g, mg,  $\mu$ g, ng, pg

物質質量：mol, mmol,  $\mu$ mol, nmol, pmol

規定度（当量濃度）：N

モル濃度：M, mM,  $\mu$ M, nM

時間：h, min, sec

放射エネルギー：Bq, kBq, MBq, GBq

成分比：ppm, ppb

回転数：rpm

標準偏差・誤差：SD, SE

水素イオン濃度：pH

温度： $^{\circ}$ C

物理的力：N

ミリ当量：mEq

単位は半角アルファベットで記載し、ワープロ独自の特殊記号などは用いない。

### D. 論文構成：

論文はコピー2部を添えて提出のこと。図が写真製版の場合、コピー論文にも同様の写真を添付するのが望ましい。

論文は、以下の配列順序となっていること：

1. 表題ページ：論文題名、著者名、所属を、本誌最新号の論文スタイルを参考に記載する。ページ下に、本文の日本語、英語表記に合わせて20字以内のランニングタイトル、連絡先及び住所を記載する。
2. 抄録ページ：本文が日本語、英語表記の如何に拘わらず、抄録（Abstract）については英文とする（200～400語）（短報にあっては200語以内）。

抄録には論文要旨がわかるように、研究目的、結果、結論等を段落に区切らずに簡潔に

記述すること。

また、本ページの下段に、英文で Key words (5 個以内) を付すこと。

### 3. 本文：

a) 和文表記の論文においては、緒言、材料および方法（あるいは調査対象と方法、症例など）、結果、考察、要約（あるいは結語、まとめなど）、謝辞の順に記載する。結果と考察を一つの項目として統合記述してもよい。

b) 英文の論文においては、INTRODUCTION, MATERIALS and METHODS, RESULTS, DISCUSSION, (必要ならば ONCLUSION), ACKNOWLEDGMENT の順に記載する。RESULTS と DISCUSSION を RESULTS and DISCUSSION としてもよい。

c) 項目の階層構造（大項目、中項目、小項目）においては、下記の記号の順に従って用いる。

I, II, …; A, B, …; a, b, …;

(1), (2), …; (i), (ii) …;

d) 短報では、上記 a), b), c) で示したような項目立ては使わず、一つの項目として構成する。

e) 本文における文献引用は、引用順に番号を付し、引用箇所の文末右肩に以下のように示すこと。 1), 2.3), 1-3), 1,3-5,15,20) など。

例：----- が証明されている<sup>18)</sup>。

f) 写真、図、表の挿入位置を指示する場合は、本文欄外に Fig. 1, Table 1 のように朱書する。また、本文中に表示する場合には、和文論文にあっても Fig. 1, Table 1 のように英語表記とする。

### 4. 文献：

a) 本文中に引用した文献のみを番号を付して引用順に並べる。

b) 論文にあつては全著者名、書籍にあつては全著者名とともに全編集者名を記載する。

c) 記載方法は下記の例にならひ、特に句読点の付し方に注意すること。

d) 雑誌名の略称は、和文雑誌の場合は医学中央雑誌「収録誌目録」に、欧文雑誌の場合は "Index Medicus" の略称に準ずること。

e) インターネット上でのみ公開されている文献は、URL と共にその文献が公開された年月日を記載すること。公開日が不明な場合は最終アクセス（観覧）日を記載すること。

#### 和文記載例

##### 雑誌

1) 神山聡子, 小田高也, 陣野吉廣：生

物活性または発現活性を保持している LIN1 (L1) のゲノムワイド探索. 琉球医学会誌 27: 11-18, 2008.

##### 著書

2) 山雄健次：診断の進め方. 膵嚢胞性疾患の診断, 大橋計彦, 山雄健次 (編), pp.36-40, 医学書院, 東京, 2003.

#### 欧文文献記載例

##### 雑誌

3) Henry J.L., Epley J. and Rohrig T.P.: The analysis and distribution of mescaline in postmortem tissues. J.Anal. Toxicol. 27: 381-382, 2003.

##### 著書

4) Davidson C.J. and Bonow R.O.: Cardiac catheterization: Heart disease: a textbook of cardiovascular medicine 6 th ed. Vol. 1 (Braunwald E., Zipes D.P., Libby P. eds.), pp.359-886, W.B. Saunders CO., Philadelphia, 2001.

### 5. 図の作成：

英文、和文論文を問わず、図のタイトル、説明文は原則英語で記載する。

図の表題文には文末にピリオドを付けない。

例：Fig. 1 Acetylation of p53 by histone acetyl-trans-ferase I. (Fig. 1 とし, Fig. 1. とはしない)

a) 図 (Fig.) は、A4 サイズのスーパーファインやフォトプリント用の上質紙に個別に印刷する。図はそのまま写真印刷となるので、誤植がないよう十分チェックすること。また、縮小された場合にもよく判読できるよう、挿入文字および記号のサイズは図の大きさとのバランスに十分配慮すること。

b) 印画紙に焼き付けた写真で構成される図表の場合、台紙に貼付すること。

一つの Figure として 2 枚以上の写真を組み合わせる場合は、お互いの間隔を 2mm とする。

c) 図、写真は裏面に著者名と図の番号を付し、上下関係も示すこと。

### 6. 表の作成：

英文、和文を問わず、タイトル、欄外説明文を含め英文で記載する。

例：Table 1 Amino acid sequence of protein transduction domain

表題文を表の上部に位置させ、上記例のように文末にはピリオドを付けない。

また、Table 1 のように、表の番号の後ろにもピリオドをつけない。

その他の説明文は表の下部に配置する。また、表には縦の罫線を用いない。

Ⅲ 採択後の論文の電子媒体による提出：採択された論文は、本文、図表を含め、USB メモリーまたは CD-R (W) に保存の上、以下の要領で作成し、本医学会事務局に提出すること。

データ形式は Microsoft 社製日本語ワープロソフト Word などの代表的なソフトウェアのデータ形式が望ましい。保存ファイル名として、投稿原稿の受付番号を用いること。

記憶媒体にラベルを貼るか、もしくは別紙にて投稿原稿の受付番号、筆頭著者氏名、使用 OS (Windows OS Ver. ○○., Mac OS Ver. ○○), フォーマット形式、使用ソフトウェア (保存形式) を記入すること。

#### Ⅳ 琉球医学会誌への論文投稿の手引き

1. 論文の原稿を作成するにあたり、まず本投稿規定を熟読し、かつ琉球医学会誌の最新号を参照すること。
2. 英文、和文を問わず、英語で記載した文章については、医学英語の校正を業務とする専門会社等に文章の校正を依頼すること。(点検校正してもらった際の証明書、もしくはそれに代わる書類を添付すること)。
3. 原稿提出時には、通常の投稿か特別掲載(学位取得のための論文等で受理期限があるために急いで掲載を希望する論文の場合)を希望するのかを『原稿内訳用紙』に記入し、提出すること。
4. 原稿提出時には「原稿内訳用紙」、[著作権委譲承諾書]、[誓約書]、ならびに「カバーレター」を提出すること。
5. 投稿料は掲載料の著者負担分とし、当該原稿の刷り上がり頁数に応じて1頁あたり、和文 2,000

円、英文 2,500 円、特別掲載料 15,000 円とする。またカラー印刷代は投稿料とは別途に、印刷業者に支払うこととする。

6. 別刷料金の単価は以下のとおりとする。(但し 30 部は無料、増刷分についての1部あたりの単価を示す)

	20 部	70 部	120 部
1 ~ 8 頁	160 円	140 円	110 円
9 ~ 16 頁	210 円	180 円	140 円
17 ~ 24 頁	260 円	210 円	160 円

#### 【その他投稿にあたっての留意事項】

投稿された論文がヒトを対象にした臨床試験等の研究内容を含む場合、その研究は世界医師会総会 (World Medical Assembly) において承認されたヘルシンキ宣言 (1964 年承認、2009 年ソウル大会にて修正) の精神に則って行われたものでなければならない。また、投稿された論文が、倫理面で配慮を必要とする疫学的研究、動物を使用した研究、DNA 組換え体や病原体を用いた研究、RI を使用した研究等の場合にあっても、各種法令や規程等を遵守していなければならない。そのため、上記の研究に該当する内容を含む研究報告を本誌へ投稿するに際しては、研究実施機関において該当する審査委員会等の承認をあらかじめ得ていること。仮に、審査委員会等の承認を経ずに実施された研究論文を本誌に発表した場合、その発表に起因する全ての責任は著者 (個人または連名者) 自身が負うものであり、琉球医学会および編集委員会は責任を負う立場にはない。